

株式会社WOWOWプラス 番組審議会議事録 (2019年1月17日開催分)

開催年月日： 2019年1月17日(木) 11:00~13:30

開催場所： 株式会社WOWOWプラス 会議室

委員の出席： 委員の総数 7名

出席委員数 8名

出席者

[審議員] 池ノ辺直子、音好宏、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯淺正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、宮澤辰之、松田健吾、井田勇、山下泰司、
内藤友基、池田綾香(記)、渋谷明子(記)

議題： (1) 2018年10月~12月の歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) 歌謡ポップスチャンネルの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2018年10月~12月における歌謡ポップスチャンネルに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 「WOWOW PLUS MUSIC -深夜1時の音楽タイム-」
Tuesday：虹コンの2時じゃないんかぁあい！
Friday：妹尾 武「真夜中のピアニスト」

<番組概要>

深夜1時、新たな音楽に出会う時間「WOWOW PLUS MUSIC」。

音楽専門チャンネル『歌謡ポップスチャンネル』が“今伝えたい”をキーワードに多彩な音楽ジャンルのアーティストを独自にピックアップ。曜日替わりで7組のアーティストの番組をレギュラー放送し、その魅力・素晴らしさをお届け。火曜日は女性アイドルグループ「虹のコンキスタドール」、金曜日はピアニスト「妹尾 武」の番組を放送。

審議内容： ■審議員意見

- ・帯番組とする狙いは、視聴習慣の定着にあるはず。異なるジャンルのアーティストと、異なる構成の番組を帯編成する必要性が感じられず、視聴者のためになっているか疑問を感じる。

- ・予算の限られた中で番組制作を行っているのは分かるが、演出力をあげて、アーティストの魅力をもっと引き出して欲しい。今のままでは、ファンにとってのみ楽しめる番組となっている。
- ・“今伝えたい”というテーマ、多彩なジャンルへのアプローチというチャレンジは良い。作曲家、編曲家、ピアニストの中にも優れたアーティストは多く、妹尾武は今までどこも取り上げてこなかったことが不思議なくらい。虹のコンキスタドールという意外性のある選定も面白い。その他の曜日も、音楽性が優れた HANDSIGN、将来有望な中澤卓也など、着眼点が素晴らしい。

Tuesday：虹コンの2時じゃないんかああい！について

- ・メンバー横並びでのお題トークは、ありきたり。ファンはオフショットやメイキングなど、アイドルの日常の1コマが見たい。ファンに見てもらふ番組こそ、内容は濃くあるべき。

Friday：妹尾 武「真夜中のピアニスト」について

- ・妹尾武を司会に据えた狙いが分からない。ゲストの方が喋り上手で、途中で役割が逆転してしまっている。優れたピアニストとして紹介するのであれば、トークなしという選択肢もあったのではないか。

■審議員長総評

- ・番組の特色や人選の理由など、観ているだけでは伝わらない部分が多い。なぜこのアーティスト達を取り上げたのか、それぞれの理由を視聴者に明確に伝えて欲しい。

連絡事項： 次回番組審議会は、2019年4月18日（木）午前11：00開催予定。

以上